

「多様な学び」

—子どもたちがエンパワーメントできる政策実践—

子どもが自発的に学び方を選び、意欲を高め、生きていく力を高められるような「多様な学び」を実践してきた人たちがいます。栃木県高根沢町町長として、「どこで学ぶかではなく、何を学ぶか」との理念を掲げ、不登校児童・生徒支援施設「ひよこの家」を設置し、町外からも多くの児童・生徒を受け入れた高橋克法さん。フリースクール「東京シューレ」を開設し、現在、学校教育制度外の多様な学び場をつないで立法を目指す「多様な学び保障法を実現する会」の奥地圭子さん。そして、これら「多様な学び」で生き生きしている子どもたち、自信を得て卒業し成長した子どもたちがいます。今年6月、「超党派フリースクール議員連盟」が再結成され、不登校だけでなく、いじめや体罰・貧困・グローバル化といった学習ニーズの多様化に対応できる教育保障をめざしています。「命のかたまり」である子どもたちに、今の教育制度は応えられているでしょうか。日本国憲法26条の「教育を受ける権利」を満たしているでしょうか。今年、日本は国連・子どもの権利条約の批准20周年を迎えました。条約にある「学ぶ権利の保障」につながる法制度や実践的な取り組みについて、ゲストのお話をうかがいながら対話します。

■ゲスト：

高橋 克法さん



参議院議員（自民党）。栃木県高根沢町 前町長（連続4期）時、公設民営の不登校児童・生徒支援施設「ひよこの家」を設置、子育て支援と学校教育の窓口を一元化した「こどもみらい課」を県内初設置、「食育・地産地消プロジェクト」を立ち上げ「高根沢町ハートごはん条例」を制定するなど実績は多岐にわたる。趣味は炭焼き。2児の父でもある。

奥地 圭子さん



「多様な学び保障法を実現する会」共同代表、フリースクール全国ネットワーク代表理事。わが子の不登校を機に1984年、親の会「登校拒否を考える会」を設立。22年間勤めた公立小学校教員を辞し1985年「東京シューレ」を開設、現在は理事長。著書に『僕は僕でよかったんだ～学校に行かなかった32人との再会』、『子どもをいじめん大切な学校』など。

■日時： 9月4日(木)18:30~21:00 (受付開始18:00)

終了後、会場近くにて懇親会を開催します。どうぞ参加ください。

■会場： 四谷地域センター 11階 集会室 2+3

東京都新宿区内藤町87 (丸ノ内線・新宿御苑前駅 徒歩5分)
(案内 <http://www2.odn.ne.jp/~hao65350/about.html>)

■資料代： 一般1,000円 / 学生500円 当日受付にて。

■主催： ソーシャル・ジャスティス基金 (SJF)

東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル501 認定NPO法人まちぽっと

Tel 03-5941-7948、Fax 03-3200-9250、ホームページ <http://socialjustice.jp/>、メール info@socialjustice.jp

■申し込み： <https://socialjustice.jp/20140904.html> 事前登録にご協力ください。

